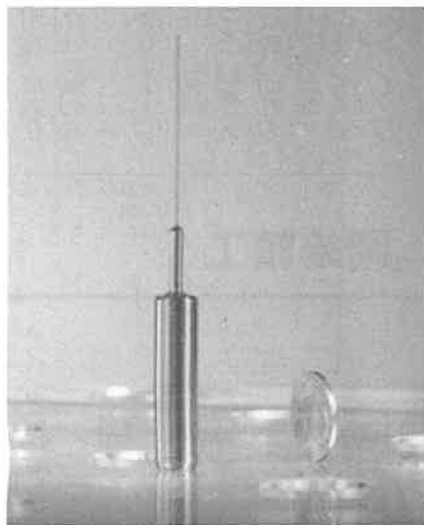


高精度な深穴加工が可能なガンドリル

各国の切削工具メーカーの製品を取り扱うムラキは、超精密・微細加工に向く工具に最小径0.5mmから製造可能なドイツ・ボーテック社の「超硬ソリッドガンドリル」を挙げる。

「ガンドリルを用いた深穴加工



超硬ソリッドガンドリル

は、直進性が良く優秀な面粗度を
得ることができる。H7〜9程度
の径公差での穴あけが可能で、リー
マ加工を省ける」(ムラキ)

ロー付けガンドリルに比べ加工
中の振動を軽減でき高送りが可能
なのが特長。キドニー形状のクーラ

ントホールを採用
したことで、刃先
の冷却効果を高め

切りくずをスムー
ズに排出できると
いう。「ロングドリ

ルに比べ直進性や
穴径精度の高い高
精度な加工ができ

る。ガンドリルマ
シンの使用下では
直径1.0×深さ

158mmと径の60

倍程度の深穴加工が可能だ。

近年、同社が注力しているのは
「バリ取りの自動化」だと言う。バ
リは大きさ、厚さ、硬さなどにバ
ラつきがあり、一つひとつ職人が目
で見ても確かめながら手作業で処理
する必要があり、自動化が難しい
とされてきた。しかし、人手不足
から自動化を検討する現場も増え
ている。

そこで同社では新たにマシニング
センタ、ロボット、バリ取り専用機
などによる自動化に適したMRA
超硬バー「MPシリーズ」をライ
ンナップした。安定したバリ取り、
面取りの自動化を実現するために、
刃径公差を±0.025mmと高精度
化。ピピリの減少や安定した加工
ができ、ツール交換時の品質安定
化、工具の超寿命化に寄与する。